

# きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成21年3月23日(月) 山根

## さあ～来年度は、 新たな自分をつくるぞ！

皆さんは、4月から、いよいよ2年生、3年生に進級します。

そこで、皆さんには、充実した最高学年、中堅学年として、中学校生活を送ってもらいたいと願っています。

ところで、皆さんは彫刻家の「ロダン」を知っていますね。

ロダンは、1840年にパリで生まれました。両親は質素で平凡で、芸術には、あまり縁はありませんでした。

ロダンの小学校時代は勉強嫌いで、成績はあまり良くありませんでした。

父親はロダンを中学生になる時、「装飾美術学校」に入学させました。

すると見違えるほど、ひたむきに勉強に取り組み始めたのです。特に粘土を握っているときの彼の表情は、感動に満ち、生き生きとしていました。



卒業後、美術の道を目指そうと、国立の「エコール・デ・ボザール美術学校」を受験しましたが、残念ながら失敗(三度失敗する)してしまいました。その時、もう20歳を過ぎ、仕方なく進学を諦めたのです。

その後、生計を立てるため、室内装飾や建築彫刻などの仕事に従事しましたが、生活は本当に苦しく貧しい生活が続きました。

そんな中、姉の死に遭い、修道院で修行するため僧になったので

すが、うまくいかず、還俗(げんぞく：僧からもとに戻る)しました。

彫刻の道が諦められず、掘っ立て小屋(本人はアトリエと称す)を借りて、自分の芸術制作に励みました。

35歳になったとき、フィレンツェとローマ旅行に出かけたのです。

そこでミケランジェロの作品に影響を受け、「青銅時代」という作品をブリュッセルの美術展に出品しましたが落選してしまいました。

40歳で再び出品したところ、なんと、入選したのです。

それからは、どんどん有名になり、名声を高めることとなりました。

その後、皆さんもよく知っている有名な永遠の苦悩を表現した「考える人」を発表したのです。

その頃、彼は「天才の彫刻家」と賞されました。

しかし、ロダンは、「私には、天才といったものは決してない。ただ勉強です。方法です。毎日、目標を持って生活することです」と言っています。



これを聞いて皆さんはどのように思いますか。

皆さんは、今、来年度のことを思い、期待が一杯あるでしょう。

勉強に部活動に、いろいろ不安があると思いますが、それが普通ですね。

ロダンは決して勉強は出来る方ではありませんでした。ただ皆さんと同じ年の頃(装飾美術学校時代)は、一生懸命勉強に取り組みました。計画を立て、方法を考え、時間を惜しんで頑張ったのです。ロダンは「努力の人」ですね。「努力が天才をつくる」のです。(マリナーズのイチロー選手も努力の人ですね)

皆さんには、これから決意を新たに、どんな困難にも打ち勝って目標に向けて前進していただきたいのです。頑張れば必ず出来るということですね

ここで、これからの勉強で大切なことを紹介しておきます。

皆さんは、今、大きな時代の転換期です。

以前までの勉強はたくさんの知識や技能が求められました。

しかし今は、どれだけ知識を知っているかということよりも、その知識を組み合わせ自分で考え、自分で判断し、行動することが求められています。



新しいものを作りだす豊かな感性が求められています。

自分で問題(課題)を見つけ、解決していく能力が求められています。

ロダンの「考える人」のように、常に物事を深く考え、新しい事態、例えば、国際化・情報化の時代に対応できる力を身につけることが求められています。

さあ、新しい自分を作ってください。

「坂中生 頑張れ！」